


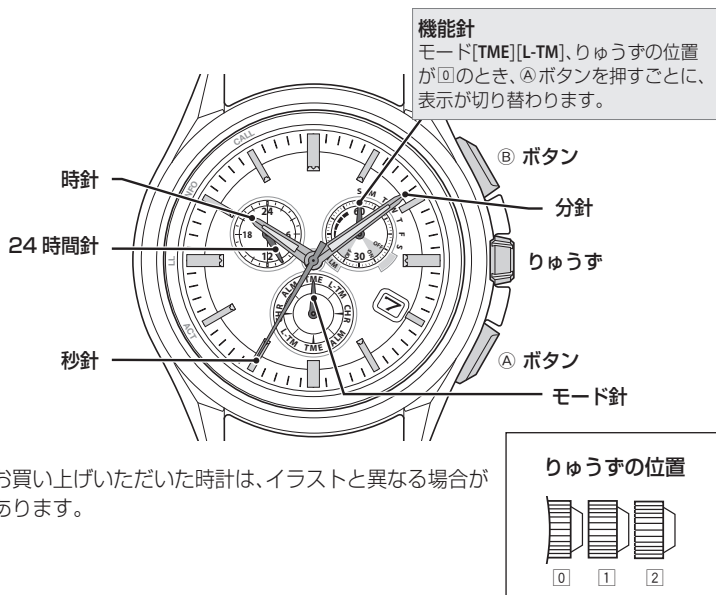


- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  W770 取扱説明書
- PDF上で  動画  アイコンをクリックすると、動画をご覧いただけます。

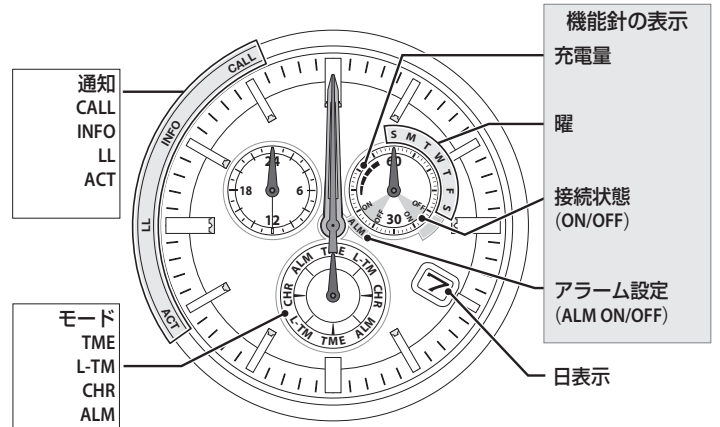
## 各部の名称

### 針とボタン



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。

### 表示



- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。

## モードを切り替える


この時計には、次の4つのモードがあります。

TME	通常の時刻を表示します。
L-TM	モード[TME]とは異なる時間・カレンダーを表示します。
CHR	クロノグラフを使用するためのモードです。
ALM	アラームの設定を行うためのモードです。





- りゅうずの位置を **1** にする  
秒針が30秒を指して停止します。
- りゅうずを回して、モードを切り替える  
・モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。
- りゅうずの位置を **0** にして終了する  
時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。  
・表示の切り替えに時間がかかる場合があります。

## 充電量を確認する

 動画

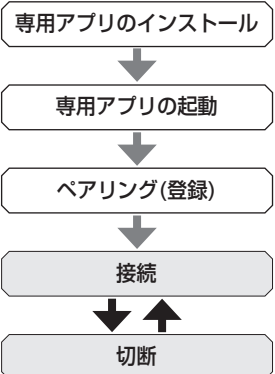
- モードを [TME] または [L-TM] にして、りゅうずの位置を **0** にする
-  ボタンをくり返し押して、機能針が充電量を表示するようになる

### 充電量のレベル表示

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	スマートフォンを1日に6時間使用しているとき (10回程度の通知を受け取り、通知ごとに1回振動する場合)			180日以下
	280~250日	250~200日	200~180日	
表示の意味	スマートフォンを使用していないとき			充電警告が始まるレベルです。
	20.5~16.5ヵ月	16.5~9ヵ月	9ヵ月~180日	
	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。
	安心してお使いいただけるレベルです。			すぐに充電してください。

## スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 **Bluetooth Low Energy** を使用し、スマートフォンと接続します。  
接続には、スマートフォンに専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」をインストールし起動させ、ペアリング(登録)する必要があります。  
接続までの流れは、次のようになります。



- \* Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- \* Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- \* iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

## 接続できるスマートフォンについて

接続できるスマートフォン(Android OS 5.1/iOS 9.3以降に対応)や専用アプリについての情報は、次のサイトで確認できます。

<http://citizen.jp/support/guide/manual.html>

- この時計には、アプリから時計本体を操作したり、アプリ特有の機能があります。

### お知らせ

飛行機内など電子機器の使用について制限があるときは、スマートフォンとの接続を切断し、時計のモードを[CHR]にします。

## 時刻受信について

この時計は、スマートフォンから時刻情報を取得し、時刻・カレンダーを自動で修正することができます(自動時刻受信)。  
自動時刻受信は、モード[TME]の表示時刻の毎日午前3時以降に、時計のパワーセーブが最初に解除されたとき働きます。  
・接続可能なスマートフォンと切断中であっても、一時的に接続して、時計は時刻情報を取得します。

- 次の場合、自動時刻受信は動きません。
- ・時計のモードが[TME]や[L-TM]以外のとき
  - ・アプリの[時刻同期]設定がオフのとき

## 時計の通知表示について

通知を受け取ると、秒針が、対応する通知表示を指します。

秒針による通知表示		
表示	秒針の位置	通知の種類
CALL	55秒	電話着信通知
INFO	50秒	各種通知
LL	45秒	切断通知(Link Loss)
ACT	40秒	時刻受信または接続プロセスの進行中(Activation)

- 秒針の通知表示は、時計のモードが[TME]または[L-TM]でりゅうずの位置が④のときのみ行われます。上記以外の場合に通知を受け取ったときは、通知表示ができるようになるまで、通知表示は保留されます。
- 通知表示中に新しい通知を受け取ると、表示中の通知は解除され、新しい通知表示を行います。

## 通知の際の音や振動について

- アプリの[Notification(通知)]設定で、通知表示に音や振動を加えることができます。
- 秒針が通知表示を行えないときにも、音や振動による通知は行われます。また、通知表示が保留されていた場合は、秒針による通知表示に併せて、音や振動による通知が再度行われます。

## 通知を受け取れる範囲について

- 時計とスマートフォンの接続可能な範囲は、最大でおよそ10 mです。壁などの障害物があると、より狭くなる場合があります。
- また、時計を腕など体で遮らないようにしてください。

## 通知表示を解除する

- 秒針は、通知表示が解除されるまで、秒表示には戻りません。
- 手動で解除した通知表示を再度表示させることはできません。

- 通知表示中に、**① ボタン**または**② ボタン**を1秒間押し続ける  
通知表示が解除され、秒針は通常の秒表示に戻ります。
  - りゅうずの位置を変更しても、通知表示は解除されます。

## 通知の振動を確認する

- 通知の際の振動を事前に確認することができます。
- 充電量レベルが「0」のときは、確認できません。
  - 振動の設定は、アプリで行います。

- モードを[ALM]にして、りゅうずの位置を④にする
- ③ ボタン**を押す  
振動が始まります。
  - 通知の振動が5回くり返されます。
- モードを[TME]にし、りゅうずの位置を④にして終了する  
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

## スマートフォンをペアリング(登録)する

時計とスマートフォンを接続するときは、まず登録を行います。

### 登録を行う前に

- 登録を行うと、固有の登録情報が時計とスマートフォンにそれぞれ保存されます。
- 登録情報は、保存先を選んで最大3つまで時計に保存できます。保存された登録情報はアプリで確認することができます。
- 登録済みのスマートフォンが複数あるときは、保存された登録情報を切り替えて、接続/切断することができます。
- すでに登録情報が保存された保存先には、登録情報を削除するまで、新たに登録することはできません。

### 登録情報の保存先を選ぶ

 動画

- モードを[TME]にして、りゅうずの位置を②にする  
秒針が、現在選んでいる登録情報(保存先)を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。
- りゅうずを回して、登録情報の保存先を選ぶ
- りゅうずの位置を④にして終了する  
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

### スマートフォンを登録する

 動画

- 登録には、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。
- 時計とスマートフォンの充電量にご注意ください。特に、時計の充電量を確認し、充電量レベルが「1」または「0」のときは、登録を行う前に充電を行ってください。
- 時計の登録操作には時間制限があります。登録が完了する前でも約30秒間経過すると、時計は通常の動きに戻ります。

#### <スマートフォンの操作>

- アプリサイトから、専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」をインストールする
- 専用アプリを起動する
  - アプリ画面は表示させたままにしておきます。
  - Bluetooth使用の許可を求めるダイアログが表示されたら、許可します。

#### <時計の操作>

- モードを[TME]または[L-TM]にして、りゅうずの位置を④にする
- ③ ボタン**を押す  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、登録が始まります。
  - スマートフォンが登録済みの場合は、接続されます。

#### <スマートフォンの操作>

- アプリ画面にBluetooth接続の許可を求める表示がでたら、「Pair」を選ぶ  
登録が完了すると、「Connected」(接続済み)と表示されます。
  - 登録完了までに、およそ20~30秒かかる場合があります。

登録が完了すると、時計とスマートフォンは接続されます。

### 登録に成功すると

時計の機能針が接続状態の「ON」を指し、秒針が秒表示に戻ります。

次の場合は、登録は完了していません。

- 時計の秒針が「LL(45秒位置)」を指す
- 時計の秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、その後秒表示に戻るが、機能針が接続状態の「ON」を指していない

## スマートフォンを接続/切断する

### 接続状態を確認する

- 1 モードを [TME] または [L-TM] にして、**りゅうずの位置を 0 にする**
- 2 機能針が接続状態 (ON/OFF) を指すまで、**A ボタンをくり返し押す**

### 接続を切断する

・秒針が通知表示を指しているときは、あらかじめ解除しておきます。

- 1 接続中に、モードを [TME] または [L-TM] にして、**りゅうずの位置を 0 にする**
- 2 **B ボタンを 4 秒間押し続ける**  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、切断が完了すると、機能針が接続状態の「OFF」を指します。

### 接続する

※ 動画

切断したスマートフォンに再度接続します。

・登録前のスマートフォンは、接続できません。

- 1 切断中に、モードを [TME] または [L-TM] にして、**りゅうずの位置を 0 にする**
- 2 **B ボタンを押す**  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、接続が完了すると、機能針が接続状態の「ON」を指します。

### スマートフォンを選んで接続する

※ 動画

3つの保存先からスマートフォンの登録情報を選んで、接続します。

・複数のスマートフォンを同時に接続することはできません。

- 1 モードを [TME] にして、**りゅうずの位置を 2 にする**  
秒針が、現在選んでいる登録情報を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。
- 2 **りゅうずを回して、登録情報を選ぶ**
- 3 モードを [TME] のまま、**りゅうずの位置を 0 にする**  
・他のスマートフォンが接続中だった場合は、切断されます。
- 4 **B ボタンを押す**  
秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、接続が完了すると、機能針が接続状態の「ON」を指します。

## スマートフォンを鳴らす

現在接続相手として選んでいるスマートフォンが、接続範囲内にあるときに、スマートフォンを鳴らすことができます。

・この機能は、接続中でなくても使用できます。

・秒針が通知表示を指しているときは、あらかじめ解除しておきます。

- 1 モードを [TME] または [L-TM] にして、**りゅうずの位置を 0 にする**
- 2 **A ボタンと B ボタンを同時に押す**  
スマートフォンが鳴り始めます。  
・スマートフォンで止めるまで音は鳴り続けます。
- 3 スマートフォンの画面にしたがって、音を止める

## ペアリング(登録)情報を削除する

※ 動画

スマートフォンを時計に登録すると、時計とスマートフォンお互いの登録情報が保存されます。

次のようなとき、時計とスマートフォンのそれぞれの登録情報を削除することで、接続できないなどの問題が解決できる場合があります。

- ・時計かスマートフォンのいずれかの登録情報を削除してしまったとき
- ・同じスマートフォンを別の保存先に登録したいとき
- ・アプリをアップデートしたり、再度ダウンロードしたとき
- ・登録後、正しい手順を行っても再接続ができないとき

### 時計から登録情報を削除する

- 1 モードを [TME] にして、**りゅうずの位置を 2 にする**  
秒針が、現在選んでいる登録情報を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。
- 2 **りゅうずを回して、削除する登録情報を選ぶ**
- 3 **B ボタンを約 7 秒間押し続ける**  
秒針が一回転したら削除は完了です。
- 4 **りゅうずの位置を 0 にして終了する**  
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

### スマートフォンから登録情報を削除する

- 1 スマートフォンの Bluetooth の登録機器のリストから「Eco-Drive W770」を削除する

## ローカルタイムを使う [Local Time]

モード[TME]の表示時刻と異なるもう一つの時刻(ローカルタイム)を表示させることができます。

- ・ローカルタイムは、UTC(協定世界時)との時差±27時間以内の範囲で変更できます。
- ・日表示/曜表示も、ローカルタイムに合わせて表示されます。

### ローカルタイムを表示させる

- 1 モードを [L-TM] にして、**りゅうずの位置を 0 にする**  
ローカルタイムが表示されます。  
・機能針が、曜を表示していないときは、**A ボタンをくり返し押します。**

### ローカルタイムの時刻を変更する

- 1 モードを [L-TM] にして、**りゅうずの位置を 2 にする**  
秒針が0秒を指し、ローカルタイムが表示されます。
- 2 **りゅうずを回して、ローカルタイムの時刻を合わせる**  
分針は15分単位で動きます。  
・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。  
動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。±12時間進むと自動で止まります。
- 3 **りゅうずの位置を 0 にして終了する**

## クロノグラフを使う

この時計のクロノグラフは、1秒単位で最大60分まで表示することができます。

- ・スタートから、60分間経過するとクロノグラフはリセットされ、停止します。
- ・モード[CHR]のときは、機能針の表示を切り替えることはできません。

- 1 モードを [CHR] にして、**りゅうずの位置を 0 にする**  
秒針と機能針が、0分0秒を表示します。その他の針/表示は、モード[TME]の時刻を表示します。
- 2 計測する  
スタート/ストップ: **B ボタンを押す**  
リセット: 計測の停止中に **A ボタンを押す**  
・りゅうずの位置を変更すると、クロノグラフはリセットされます。
- 3 モードを [TME] にし、**りゅうずの位置を 0 にして終了する**  
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

## アラームを使う [Alarm]

- この時計のアラームは、モード[TME]の表示時刻に基づきます。
- モード[ALM]のときは、機能針の表示を切り替えることはできません。

### アラームの設定を確認する

- モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を ⑩ にする  
時針/分針/24時間針がアラームの設定時刻を表示し、機能針がアラーム設定 (ALM ON/OFF) を表示します。  
・ ⑩ ボタンを押すごとに、アラーム設定のON/OFFが切り替わります。
- モードを [TME] にし、りゅうずの位置を ⑩ にして終了する  
通常の表示に戻ります。

### 設定時刻になると

- 設定時刻になると、アラームが15秒間鳴ります。
- りゅうずの位置が⑩以外のときは、アラームは鳴りません。

### アラーム音を止める

いずれかのボタンを押します。

### アラームの設定を変更する

- アラーム時刻の設定は、24時間制です。

- モードを [ALM] にして、りゅうずの位置を ② にする  
アラームの設定時刻が表示され、機能針がアラーム設定 (ALM ON/OFF) を表示します。
- ④ ボタンを2秒間以上押し続ける  
分針が少し動いて、アラームの設定時刻を変更できるようになります。
- りゅうずを回して、アラームの時刻を設定する  
・ 午前/午後は、24時間針で確認します。  
・ りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- ④ ボタンを押して、アラーム設定 (ALM ON/OFF) を設定する  
・ ④ ボタンを押すごとに、ON/OFFが切り替わります。
- モードを [TME] にし、りゅうずの位置を ⑩ にして終了する  
通常の表示に戻ります。

### アラーム音を確認する

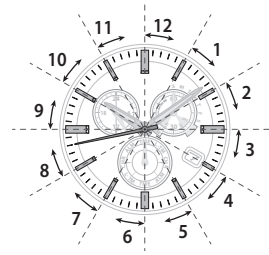
手順1のとき、④ ボタンを押すと、押ししている間アラーム音が鳴り続けます。

## 時刻・カレンダーを手動で合わせる

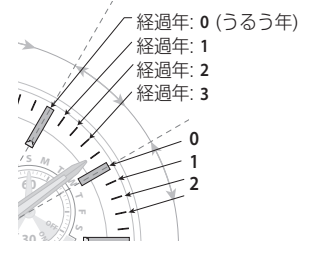
- モード[TME]の時刻・カレンダーを手動で合わせます。
- ローカルタイムも、時差に応じて自動で修正されます。

- モードを [TME] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が、現在選んでいる登録情報を指します。
- ④ ボタンを2秒間以上押し続ける  
秒針が0秒を指して停止し、分針が少し動きます。
- ④ ボタンをくり返し押しして、合わせる針 / 表示を選ぶ  
・ ④ ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。  
・ 時/分 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)  
・ 針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- りゅうずを回して、針 / 表示を合わせる  
・ 時針/分針/24時間針は連動します。  
・ 午前/午後は、24時間針で確認します。  
・ 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。  
・ 時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。  
・ 年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。  
各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りで表示されます。



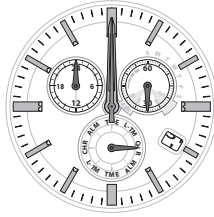
年				経過年	秒針の位置
2016	2020	2024	2028	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2017	2021	2025	2029	1	1目盛り目
2018	2022	2026	2030	2	2目盛り目
2019	2023	2027	2031	3	3目盛り目

- うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

- 手順3と4をくり返す
- 時報に合わせて、りゅうずの位置を ⑩ にして終了する

## 基準位置を確認する

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が、現在の基準位置に移動し停止します。
- 2 ④ ボタンを 2 秒間押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・ 針が動き出したらボタンを離します。
- 3 基準位置を確認する  
正しい基準位置は次のとおりです。
  - ・ 時計/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
  - ・ 24時間針: 「24」
  - ・ 日表示の位置: 「31」と「1」の間
  - ・ 機能針の位置: 「30」(真下)
- 4 りゅうずの位置を ① にする
- 5 モードを [TME] にして終了する



基準位置がずれているときは、「基準位置を修正する」の手順3に進みます。

## 基準位置を修正する

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を ② にする  
秒針が、現在の基準位置に移動し停止します。
- 2 ④ ボタンを 2 秒間押し続ける  
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。  
・ 針が動き出したらボタンを離します。
- 3 ④ ボタンを押す  
機能針が少し動き、機能針と日表示の基準位置の修正ができるようになります。
- 4 ④ ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ  
・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。  
機能針/日表示 → 時計/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)  
・ 針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。  
・ 時計/分針/24時間針が、修正対象のときは、機能針は「60」(真上)を指します。
- 5 りゅうずを回して、針 / 表示を修正する  
・ 時計/分針/24時間針は連動します。  
・ 日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。  
・ りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 6 手順 4 と 5 をくり返す
- 7 りゅうずの位置を ① にする
- 8 モードを [TME] にして終了する

## オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

- 1 モードを [CHR] にして、りゅうずの位置を ② にする
- 2 ④ ボタンと ⑤ ボタンを同時に 4 秒間以上押し続けて、離す  
ボタンから手を離すと、アラーム音と振動が発生し、各針が現在の基準位置に動きます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の1月1日曜日
ローカルタイム	UTCとの時差±0時間
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前0時0分
スマートフォンの登録情報	登録情報はそのまま、接続先が登録情報1になります。
接続状態	OFF

## オールリセット後は

基準位置を合わせて、時刻・カレンダー合わせを行ってください。